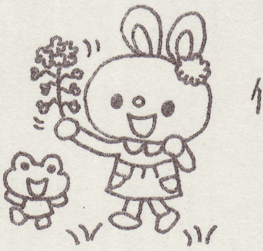
おはなしサークル「よむよむ」

～いちご号～



平成29年3月9日

佐世保市立広田小学校
校長 沖島宏幸
おはなしサークル
「よむよむ」

冬の間なかなか出会えなかった虫や草花が少しずつ顔を見せはじめました。春の訪れを感じますね。さて、よむよむでは今年度も充実した1年を送ることが出来ました。朝のよみかたりを中心に、お昼休みのおはなし会、「いのちを見つめる強調月間」での絵本の朗読、冬のおはなし会など、子どもたちに喜んでもらえる活動が出来たことを、とても嬉しく思っています。
来年度も、メンバー一同頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

朝のよみかたりで最近読んだ絵本の中から2冊ご紹介します。

『ええところ』
くすのきしげのり/作
ふるしょうようこ/絵
（学研）

自分には「ええところ」なんて1つもない…と思っているあいちゃん。友だちのともちゃんが一生懸命「ええところ」を見つけてくれます。関西弁の文章が心に沁みる、やさしさあふれる絵本です。

『ともだち』
太田大八
（講談社）

クラスのともだち― 20年後はみんな どうなっているの…？

昨年亡くなられた、長崎県出身の作家さんです。
親子でじっくりと読んでほしい1冊です。

春―― 別れと出会いの季節です。
卒業、進級、進学、引っ越し……
不安と期待で胸がいっぱいですね。
そんなとき、なんだかほっとするような…じーんとくるような絵本を読んでみませんか…

『とんことり』 林明子/絵 筒井頼子/作
（福音館書店）

『あすは きっと』 D・シュワーリン/文 K・ガンダーシーマー/絵
木島始/訳（童話館出版）
大人の方にもぜひ…

『Life ライフ』 くすのきしげのり/作 松本春野/絵
（瑞雲舎）

参加して感じたことは まず、子どもたちの楽しみな様子が伝わってきて、とても嬉しくなるということ。時には笑って、時にはしんみりと夢中で聞いてくれる姿が私に自信を持たせてくれます。それから、メンバー同士で絵本について話すうちに人とのつながりが出来たということ。相談し合える仲間に出会えました。ずっと続けていきたいです。

はじめは、わからないことばかりでしたが、先輩メンバーからいろいろ教えてもらえるので心強いです。自分のペースでの参加OKなので、無理なく続けていけます。子どもたちの笑顔にパワーをもらっています。

経験も自信もありませんでしたが、少しでも役に立てれば…と参加しました。子どもたちのキラキラした視線や笑顔がとても嬉しく、こんなに楽しいものだったなんて!! アドバイスを受けながらの選書で、読む本の幅も広がりました。幼い我が子を連れての参加も安心してできます。長く続けていきたいです。

今年度から活動しているメンバーの感想です

どのクラスの子どもたちも真剣に聞いてくれて、うれしく思います。みんなの笑い声と一緒に絵本の世界を冒険できて楽しいです。

聞いてくれる子どもたちのキラキラした目を見るのが嬉しくて楽しくてたまりません。学校外でも「あっよむよむさんだっ」と声をかけてもらえた時は特に嬉しいです。絵本を通して子どもたちとかかわることができ、とても幸せです。

メンバーは年間を通して募集しています

詳しくは来年度初め頃お知らせいたします